

# NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

## ORMZ ニュース第 77 号 (H29.12.18)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



**はじめに** 12月、師走となりました。いつもながら、一年の過ぎさる早さに驚きを感じております。

皆様にはこの一年本当にご支援をいただき心から感謝申し上げます。

お陰様で、当会も巡回診療活動はじめ健康教育の推進、研修会開催、井戸の掘削、マラリア予防のための蚊の殺虫剤噴霧事業、エイズ予防啓発のサッカー大会開催など多くの活動を実施することができました。お礼申し上げます。

活動実績等詳しい報告は、改めてこのニュース等でお知らせさせていただきます。

今年最後のニュースは、山元香代子先生からの現地活動報告です。巡回診療はじめ、車の追突事故等、車の故障に関する報告やマラリア蚊殺虫剤噴霧事業のご報告です。そして残念なことに車が一台焼失しました。詳しくは本文をご覧ください。

この一年のご支援への感謝と引き続きのご支援をお願い申し上げますとともに、新たな年が皆様にとって良い年となりますよう祈念申し上げます。

### 現地活動報告(山元香代子先生から(12月3日付け))

みなさま いかがお過ごしでしょうか。12月に入り、みなさまお忙しいことと思います。

こちらはここ2-3日いいお天気が続いています。このお天気の間になんとか車の修理が終わってくれればと願っています。しかし、きれいな青空が広がっているなあと思っても、あっという間に黒い雲が表われ、土砂降りになります。先日はとてもきれいな夕焼けでした。写真ではあまり上手に撮れません。今年とはとにかくハエが多く、日本から持参したハエ取り紙が2-3日でいっぱいになります。

11月14日はニャンカンガでの巡回診療。患者数は63名と少なく、マラリア陽性は50名中1名(2%)。5歳未満の子供のマラリアは0名。赤痢疑いが10名と多くみられました、患者数が少なく早めにニャンカンガを発ち、21時前にはルサカに着きましたが、前もよく見えないほどの土砂降りでした。事務所まであと少しの緩やかな坂道で、前方に突然テールランプもハザードランプもつけていない乗用車が止まっていた。運転手は急ブレーキをかけたが、雨のせいでスリップし衝突してしまいました。後続車は我々の車に衝突はしませんでした。その後方の車が衝突。4台の車の絡む事故となりました。停止していた車は、横の車線に故障で止まっている車があり、それをよけた車が前方に急に車線変更したので、急ブレーキをかけたとのこと。警察で事情聴取され、十分な車間距離をとっていなかったから、衝突した車が悪い。うちの運転手と4台目の車の運転手は不注意運転として、罰金225クワチャ(約2500円)をとられました。私は、正直、前方に泊まっていた車がハザードランプもつけていないのが問題だと思い、運転手もそのことを訴えま



したが、急ブレーキをかけてハザードランプをつける暇などないと警官に言われました。ありがたいことに、けがをした人はいませんでした。車の修理は保険で何とかなるとは思いますが、しばらく、この車両を使えません。ほんとうに申し訳ありませんでした。

11月22日はルアノでの巡回診療でした。チペンビヘルスセンターの手前で右後輪からバーンと言う音と共に何か燃えるような臭いがして急停止。右後輪の車軸が非常に熱くなっていました。全く動かないので、牽引してもらわなければならないと考え、レンタカーの依頼をし、ルサカにいる別の運転手に来てくれるように依頼。たまたまランドクルーザー582の修理で2人の整備士がいましたので、いっしょに約3時間後に到着。ドライブシャフトが折れているとのこと。牽引してルサカに戻りました。たまたま一緒にいたルアノのコミュニティメンバーにルアノの診療は来週に延期する旨を伝えてくれるように頼みました。翌日ハウジング、ドライブシャフトを購入し、修理し、元通り走れるようになりました。

11月27日が、最後に残ったルアノの10家族のマラリア蚊の殺虫剤噴霧でした。修理した3141がルアノに向かいました。噴霧は順調に終了しましたが、上流で雨が降り、途中の川の水量が増えていて車の後部が水につかり動けなくなったとのこと。住民に助けてもらい何とか抜け出し、24時前にルサカに戻ってきました。あちこちに水がはいり、ディーゼルタンク、オイル・エアフィルターなどを出して乾燥させました。



そのため29日の診療は30日に延期せざるをえませんでした。30日のルアノの診療は患者数64名と少なかったです。マラリア陽性は63名中1名(1.6%)。5歳未満の子供のマラリアは0名。結膜炎や下痢の患者が多かったです。帰りは久しぶりに何のトラブルもなく、無事にルサカに着きました。以前報告したように金鉞を捆る業者が道路を整備してくれましたが、雨が降り、表面の土が流され、また下の石や岩が頭をのぞかせ、道路状況は少しずつ元の悪い状況に戻ってきました。残念です。

11月17日から20日、ニャンカンガ地区全村でのマラリア蚊の殺虫剤噴霧を、27日にルアノの残り10家族分を実施し、今年の噴霧は終了しました。以下の表が今回の実績です。

村名	家族数 (噴霧しなかった家族)	噴霧した戸数	噴霧しなかった戸数
ルアノ地区			
シェレニ	122 (15)	174	30
マプランガ	57 (6)	80	16
ニロンゴ	20 (6)	20	14
サンダラ	11 (6)	10	8
サパニ	30 (9)	29	18

マインガ	13 (4)	18	8
チブンブレ	12 (2)	22	2
合計	265 (48)	353	96
<b>ニャンカンガ地区</b>			
ハマンジャージ	35 (5)	59	14
ヌウェンデ	65 (9)	116	25
ムンテンバ	50 (6)	84	13
ムボロマ	30 (4)	30	7
シフプワ	7 (0)	14	1
合計	187 (24)	303	60

噴霧できなかった家族がルアノで 48 (18.1%)、ニャンカンガで 24 (12.8%) と多くみられました。前回は噴霧できなかった家族に関する記録が抜けていたので、一概に比べることはできませんが、ルアノでは噴霧した戸数が前回 433 で、今回 353 と 80 戸も減っています。ルアノとの境界にある地域には道路事情が悪く行けませんでしたが、このような実績では労ばかり多く、きちんとした効果をあげることができない可能性があり、住民ボランティアとその理由について、しっかり話し合いたいと思います。

11月24日からコミュニティヘルスワーカーの研修、後半分 10 日間が始まりました。講師 3 名に参加者 10 名、一人の参加者の具合が悪く、2 日間欠席しましたが、何とかついていけそうです。この研修後に現在がんばっているコミュニティヘルスワーカーの 2 日間の再研修を計画していましたが、ルアノのとても優秀だった 2 人の女性のコミュニティヘルスワーカーが他の地区へ移動したり、結婚して夫の理解が得られず活動できない状態で、残り 5 名のみでの研修を行うのはむずかしいと判断して中止しました。

現在、クランクシャフトの折れたランドクルーザー 582 の修理中です。運転手 1 人と 2 人の整備士に来てもらい作業中です。見ているとたいへんな作業ですし、クランクシャフトも高価でしたが、ガスケットの購入、ターボチャージャーのチェックなどとてもお金がかかります。何とか修理でき、道路状況が悪くなる前に動けるように祈るばかりです。

毎回巡回診療のたびに車の調子が悪くなり、道路状況も雨のため悪くなる状況です。とにかく無理をせずに、元気でがんばって仕事をしていこうと思います。これからもみなさまからのご支援をよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

### 追加の報告 (残念な報告)

みなさま

2011 年当初から使っているランドクルーザーが燃えてしまいました。

12月9日、ニャンカンガに行く途中で調子が悪くなり、途中で引き返しました。ベアリングが悪いということで、午後から部品を買い修理予定でした。次の日の朝 6 時過ぎ、隣人が寝室の窓を叩く音で目覚めました。ドクター、車が燃えているよと。玄関のドアを開けると、玄関脇に止めていたランクル 3141 が炎を上げていて、大家さんの息子さんたちが懸命に水をかけていました。大家さんによるとバ



ーンと大きな音が生、来てみると燃えていたとのこと。ありがたいことに断水ではなく水が出て、すぐに消火できましたが、車の内部はほぼ燃え尽きていました。消防・警察が来ていろいろ言われましたが、調書は今週はじめにできるとのこと。バッテリーが激しく燃えていたので、おそらく電気系統に問題があったのだろうとのこと。保険会社にも行き、申請の書類をもらってきました。

悪夢を見ているとしか思えませんでした。今朝起きてみても、車の燃えた残骸があります。

電気系統がおかしいのではと運転手が言っていたので、早めに電気技師にみてもらえばよかったと悔やまれますが、後の祭りです。この車は、最近、診療に行く毎に調子が悪くなり、ほとんど毎回手を入れなくてはならなかったのですが、よく走ってくれました。

これで今、まともに走れる車は1台もありません。今後どうするか、頭があまり回らないのですが、今修理している車が走れるようになれば、レンタカーを借りて、とにかくルアノ月1回 ニャンカンガ1回として回そうかと考えています。今修理中の車がまだ走れないのならば、雨季の診療は中止にしようと思います。2台レンタカーを借りるのはむずかしいです。

本当に申し訳ありませんでした。



### 賛助会費納入及びご寄附のお願い

・認定 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会の事業は、皆様からの賛助会費並びにご寄附により運営されています。賛助会費は個人一口 5000 円、団体一口 10000 円からとなっており、ご寄附につきましては金額を問いません。

・郵便局まで足を運んでいただくというお手間をおかけしますが、ご協力のほどなにとぞよろしくお願い致します。入金を確認しました際には、日高から御礼のメールを差し上げます。また当法人は認定 NPO 法人であり、ご寄付(賛助会費含む)いただいた際には、翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書(賛助会費も寄附金と同様税控除の対象)をお届けしますので、確定申告の際まで大切に保管しておいてください。ご不明の点は日高( [info@ormz.or.jp](mailto:info@ormz.or.jp) )までご連絡ください。

★郵ちょ銀行からの振替

口座記号 01720-9      口座番号 126351

加入者名 : NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金

郵ちょ銀行 店名:一七九、預金種目:当座、口座番号:0126351

加入者名 : NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称(全角):トクヒ)ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ

以上

平成 29 年も残りわずか、皆様どうぞ良い年をお迎え下さい。

来年も ORMZ のご支援、どうぞよろしくお願い致します